

二次受験料1万円返還

国立大入試、門前払い組に

来春から文部省

文部省は九日、来春の国立大入試から二次試験を「門前払い」になった受験生には二次分の受験料を返還することを決めた。受験機会が複数化された今春入試では大量の受験生が「門前払い」されたが「共通一次しか受けないのに二次分もとのはおかしい」との批判が強まったため。二次の受験料二万円(来年度)のうち、手続き代として二万円をとり、残り二万円を受験生に返す。

国立大入試は、二次の受験料を二段階選抜を五十九校百料をそれぞれ出願時に納めることになっており、来春入試の場合同様に、今春より千円ずつ値上げに。二次は二万円、一次は二万円、計三万円。

二次試験日程のグループ分けにより、二校以上の受験ができるようになった今春の国立大入試では、多くの大学の競争率が史上最高にふくれ上がった。このため共通一次の成績によって二次受験者を一定倍率まで絞った。

これに対し、当初文部省は「二」としているとの態度をとっていた。段階選抜も二次試験の一部だが、世論や自民党の要請に押し切られ、今年五月から返還方法

の検討を開始。大蔵省や国立大協会と協議を続けていた。文部省によると、二次分二万円のうち返還されない二万円は、入試案内の郵送料や二段階選抜作業に当たる経費。夜間部の場合は、七千のうちの六千円を返す。受験料返還は受験生

の申し出に基づき、その年の四月以降に実施。郵送か振り込みかなど具体的な返還方法は各国立大に任せ。同様に国立大付属学校(計二百六十校)のうち、入学試験の前に抽選を実施して受験生を絞っている四十一校については、抽選不合格者に受験料の一部を返すことになった。同省はこれにかかわる省令を改正して十四日付の官報で告示、同時に国立大計九十五校に通知する。

帰国子女入試の外国語

19言語から選択

東外大

東京外国語大学長幸男学長は九日、来春から始める海外帰国子女向けの特別入試で、外国語の試験を英、仏、独語など一語、ヒルマ語など同大学が学

科を開設している十九の言語すべてで受験できるようにすることを決めた。現地語にたのうな東南アジア諸国などからの帰国子女の便宜をはかるのがねらいで、欧米志向の強い大学の国際化に転換を促すことにもなりそう。

このうち外国語の試験については同校の特色を生かし、学科が開設されているすべての言語が試験を得意、うち一科目を選択させることを決めた。対象は英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮語、モンゴル語、ウルドゥー語、ヒンディー語、インドネシ

住地「JOLP」
会費は 500円
03-3342-1255



伯画

自作の屏風絵 米美術館に寄贈

米ミズーリ州セントルイスのセントルイス美術館が十一月に改築オープンするのを記念し、六幅半枚、高さ二六・三センチ、日本画家の加山又造氏が自らの屏風(ひょうぶ)絵を寄贈することを加山氏に使った優雅な

熱意にうたれ

交役となって二年前から加山氏らと話し合いを続けてきた。アデボイさんは本阿弥光悦と破屋宗達に始まり、尾形光琳らに受け継がれた「琳派」を主な研究対象としており、約三年間、日本に留学し京都で研究生活を送ったこともある。

「加山氏の絵の中に琳派の精神が感じられる」といって目を輝かせている。アデボイさんは「寄贈するといわれて初めは信じられませんでした。美術館で大切に保管し、中期国債ファンド

決定

＜気温・9日＞
最高 最低

新 静 東 仙 札
降 雨、日 近 東 海 太 り